

開催報告

トキと人の共生を目指した水辺づくり座談会 第3回 天王川利活用ワーキンググループ



開催日：2015年9月24日(木)18:00～20:30

場所：トキ交流会館2階会議室

参加者：ワーキンググループ構成員14名、事務局

九州大学大学院の島谷教授と林助教をお招きし、「河川の自然再生」についてのご講演をいただきました！

今回は、「トキの野生復帰に向けた川づくりアドバイザー会議」のアドバイザーであり、河川の自然再生に先進的な取り組みをされている九州大学大学院の島谷教授と、教授の下で自然再生に取り組んでおられる林助教をお招きし、ご講演をいただいた後にワーキンググループメンバーとの意見交換を行いました。

講演会では、島谷教授と林助教から先進事例の紹介を交えながらご説明をいただき、「河川の自然再生」に関する知識を深めることができました。

意見交換会では、「子どもたちの安全対策は？」、「環境学習などの際のサポート体制は？」、「天王川にたまった水があふれ、下流に悪影響を与えることはないのか？」などの活発な質問が出されました。



島谷教授



林助教



講演会の様子

意見交換会での主なご意見

【「先進事例の工夫」や「天王川の計画」について】

- ・上西郷川は子どもたちが自由に遊べるようだが、事故が起きないように工夫は？
⇒ 学校で川の危険性について学習するほか、地域向けの環境学習会などを開催した。また、川岸を危なくない形状としたり、見通しが良く人目が届きやすいような形状とした。

・外来植物の対策で苦労したことはあるか？

⇒ アザメの瀬の場合、水につからない所ではセイタカアワダチソウが広がり苦労したが、年間20回程度冠水するような所では湿地植生が維持されている。

・天王川も上西郷川のような場所になれば、子どもたちが喜ぶと思う。ただし、いろいろな活動をおこなうためには教員だけでは力不足であり、上西郷川での九州大学のように天王川でも活動をサポートしてくれる体制があるとよい。

⇒ 大人がサポートする体制を組めればよい。子どもの環境教育は、自然再生し価値を高めた地域の人のモチベーションを維持する上でも重要である。

・天王川は水量が少ないので、池をつくっても干上がってしまうのではないか。

⇒ アザメの瀬では干上がることもあった。天王川では、山からの沢水を上手に活用できるとよいし、干上がったとしてもまた雨が降れば湿地が再生する。自然の営みとして受け入れるとよい。

・地元からは、天王川の拡幅した場所にたまった水があふれ、下流側に悪影響を与えないか心配する声がある。

⇒ 川幅が広がるのでその下流の悪影響は小さくなる。上流の安全な場所が氾濫することで、その下流では氾濫の危険が小さくなると考えればよい。



上西郷川の自然再生（福岡県福津市）



意見交換会の様子

【次回のWGについて】

・第4回WGでは、新潟大学の満尾先生をお招きし、生物多様性・生態系復元に関する内容のご講演をいただく予定。日程は後日お知らせする。

天王川利活用ワーキンググループの構成メンバー

◆地元集落：潟上集落、正明寺集落、田野沢集落

◆関係団体：佐渡生きもの語り研究所、トキどき応援団、潟上水辺の会、加茂湖漁業協同組合、佐渡島加茂湖水系再生研究所、生樁の自然を守る会

◆学校関係：伝統文化と環境福祉の専門学校、佐渡市立行谷小学校

◆行政機関：環境省佐渡自然保護官事務所

◇事務局：佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市役所建設課、佐渡市役所農林水産課

問い合わせ先 新潟県 佐渡地域振興局地域整備部 担当) 計画調整課 水倉、藤澤

TEL：0259-74-4040 FAX：0259-74-2048 Email：fujisawa.masamichi@pref.niigata.lg.jp